

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼教之

授業参観 PART 3

今回の授業参観は4月の最終日、すべて1年生のクラスでした。教科は数学、社会、国語とそれぞれ。教室は緊張感があり、真剣に授業に向かう姿勢を感じました。

【間 慎介 先生 4月28日(金) 3限「数学A」1年A組】

授業開始後、iPadを設置し自分の授業を振り返るための準備を始めた間先生。より良い授業を追求しようとする取組は大切です。皆さんにもこの姿勢をもって欲しいと思います。授業の単元は「集合の要素の個数」を数える内容でしたが、授業中、一人一人の理解状況を確認するため、声をかけながら机の間を回っていました。数学は特に積み上げが求められる教科です。基礎・基本をしっかりとし身に付け、今後の応用発展に備えましょう。



【服部 真悠理 先生 4月28日(金) 4限「歴史総合」1年C組】

「歴史総合」は、新しい学習指導要領で登場した新科目です。今日のテーマは「18世紀のアジアの繁栄」について、中国、朝鮮、日本を比較してそれぞれの近代史における発展を考えていきます。江戸の繁栄ぶりを描いた絵画資料から何がわかりますか？ 人口増加のグラフから資料を分析してみましょうとの質問がだされました。様々な資料から読み取る力を身に付けることが大学受験の『共通テスト』でも試されています。

【相良 恭子 先生 4月28日(金) 6限「言語文化」1年D組】

授業が始まると数人の生徒が教室後方のロッカーにプリントを取りに行く姿がありました。早速、相良先生から「事前に準備を」との指導を受けていました。今日の授業は古文の動詞の活用について学ぶ内容です。四段活用や上二段・下二段活用などについて習得します。何度も反復して声に出して覚えることで知識が定着します。目で見て覚えるだけでなく、発音し、さらに書くことで記憶が身体に記録されることでしょ。



GW 始まりました

大型連休が4月29日(土)からスタートしました。新型コロナウイルス対策の緩和により、今年のゴールデンウィーク(GW)は各地で4年ぶりの人出が見込まれるようです。訪日客も増えて交通や宿泊は活況。JR各社の予約状況はコロナ禍前の水準に近づいているとのこと。一方で、物価高や円安も影響し、今年は「安・近・短」のレジャーが主流となるそうです。

ちなみに私もGW初日にドライブがてら、富士山観光に出かけました。さすがは日本を代表する富士山、五合目には多くの外国人観光客の姿がありました。



5月に入り、鯉のぼりが登場しました。海の向こうのメジャーでは“兜”が話題になっていますが・・・

ところで、鯉のぼりの意味は？ 調べてみました。

鯉のぼりには、人生で遭遇する難関を鯉のように突破して立身出世して欲しいという願いが込められているそうです。難関を突破して大出世を遂げた状態を意味する慣用句、「登竜門」の「竜門」とは、黄河上流にある急流で、そこを登りきった鯉は、竜になるという伝説から、日本でも立身出世の象徴となったとのこと。

家族を表している鯉は、黒が一家の大黒柱のお父さん、赤がお母さん、青がこどもと基本の鯉のぼりの数はこの3匹・3色です。現代では女の子をイメージしたオレンジやピンクの子鯉も作られるようになっています。LGBTQへの配慮も欠かせませんね。